

“西之表市多世代交流施設整備基本構想・基本計画”を策定しました。

本市では、老化が進む社会教育施設や子育て支援施設の再整備を核とした多世代交流施設の整備に向けた検討を開始し、本市に住むあらゆる世代が、楽しく豊かな生活を営み、安心して住み続けることができる持続可能なまちを目指すこととしております。

この度、市民団体の代表等で構成される市民委員会や市民アンケート、ワークショップなどにより意見を伺いながら議論を重ね、施設整備の方針となる基本構想・基本計画を策定しましたので、その概要について、お知らせします。



*基本構想・基本計画 本編表紙

[基本構想・基本計画に関する問合せ先]

市役所企画課政策推進係 電話：22-1111(内線211)
FAX：22-0295
Mail：seisaku@city.nishinoote.lg.jp

1. 本事業の目的

住民と共に作り上げる「住民が幸せを感じるまち」を目指します。

① 郷土への愛着を持って、
生きがいを感じる環境や機会の提供

② ふるさとで子育てできる環境の提供

③ 高齢者を支える、高齢者が支える「地域力」の強化

2. 本事業の背景

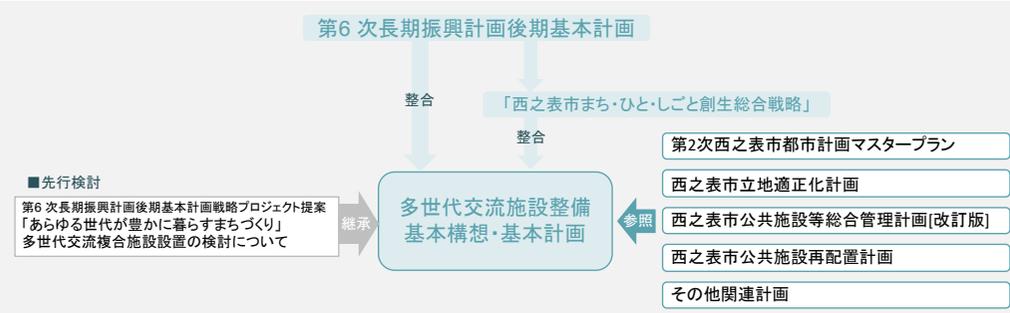
長期的な視点を持って公共施設の更新・統廃合を図ります。

① 老朽化する公共施設の更新・集約化

② 公共サービスのアップデート

③ これからの西之表市のまちづくりの一翼を担う

3. 本事業方針の位置付け



4. 施設コンセプト（目指すべきあり方）

■ グランドコンセプト

みんなの居場所となり、市民のくらしを豊かにする公共空間

となることを目指します。

この多世代交流施設の整備によって生まれる“多世代交流”とは、

子どもから大人まで多世代が集い、個人やグループなどで思い思いの過ごし方をしたり、新たな人や知識との出会いを楽しんだりすることで、西之表市で心豊かにくらすことを世代を超えて共に分かち合っている

ようなイメージです。

■ 基本方針

基本方針①：市民に愛され、みんなの居場所となる施設づくり

世代を超えて広く市民に親しまれ、目的に関わらず滞在できる施設を整備します。

基本方針②：市民の安全・安心を守る空間づくり

誰もが安心して安全に利用できる施設づくりを目指します。

基本方針③：地域の自然が息づく環境づくり

周辺環境と調和し、地産材の活用や、様々な環境配慮の工夫を検討するなど、環境負荷の小さい施設を目指します。

基本方針④：地域の手で支える運営体制づくり

持続可能な施設運営のために、地域の手で支える運営体制づくりに取り組みます。

5. 整備機能について

■ 主な整備機能の一覧

機能	主な整備内容
① みんなの居場所となる機能	図書館 開架書架 閉架書庫 閲覧室 視聴覚ルーム 学習室 など *現在の市立図書館を移転リニューアルします。
	子どもの遊び場 屋内遊び場 屋根付き遊び場
	みんなの通いの場 集会室 レクチャールーム(教養講座室)
	その他サービス 郷土資料/芸術展示コーナー 各種相談スペース 飲食コーナー
② 市民のくらしを豊かにする機能	榕城児童クラブ 高学年の部屋 低学年の部屋 更衣室(児童用) 静養室 事務室 など *現在の榕城児童クラブを移転リニューアルします。
	子育て支援センター ほふく室 遊戲室 相談室 事務室 など *現在の子育て支援センターを移転リニューアルします。
	教育支援センター 学習室 プレイルーム 相談室 事務室 など *他の室との併用も検討します。
	市民レクリエーション(多目的スペース) 健康づくり・レクリエーション室(多目的スペース)
	その他 交流広場(防災機能を含む) 防災倉庫(地下の活用を含む) 駐車場(防災機能・地域交通ターミナルを含む)

* 図書館・児童クラブ・子育て支援センターについては、現施設の移転リニューアルとなります。

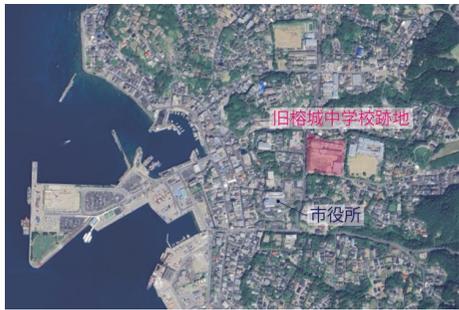
6. 建設候補地について

“多世代交流施設”の建設候補地は、

旧榕城中跡地 とします。

“旧榕城中跡地”の大きな魅力は、

- ①歴史的・文化的に市民の愛着がある土地柄
- ②計画しやすい十分な面積がある
- ③周辺に様々な都市機能が集積している
- ④中心市街地にあり利便性が高い
- ⑤高台に位置し、災害リスクが小さいことが挙げられます。

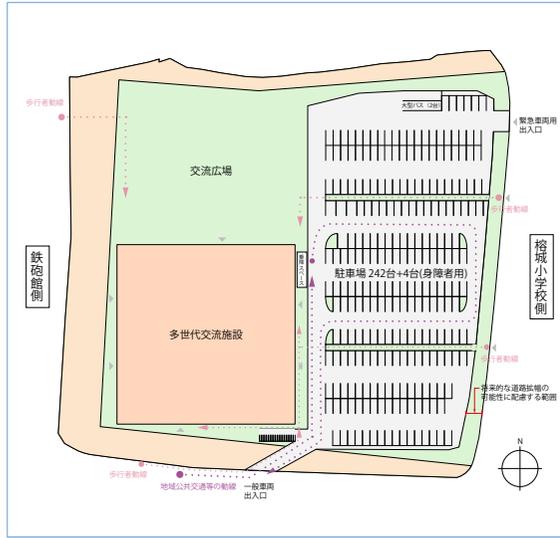


* Googleマップから本市作成

7. 施設配置について

■施設配置イメージ

旧榕城中跡地における施設配置については、敷地の東西側と南側の接道に対する考え方を重視した配置を基本とします。



* 今後、設計事業者等のアイデアによって変更となる場合があります。

東側道路

榕城小学校と挟まれた道路であり、幅員が約4mで狭いため、原則として**駐車場出入口は設けない**(緊急車両用出入口を除く)計画とします。また、将来的な道路拡幅の可能性を考慮し、敷地境界から一定の範囲には施設計画を行わないものとします。

西側道路

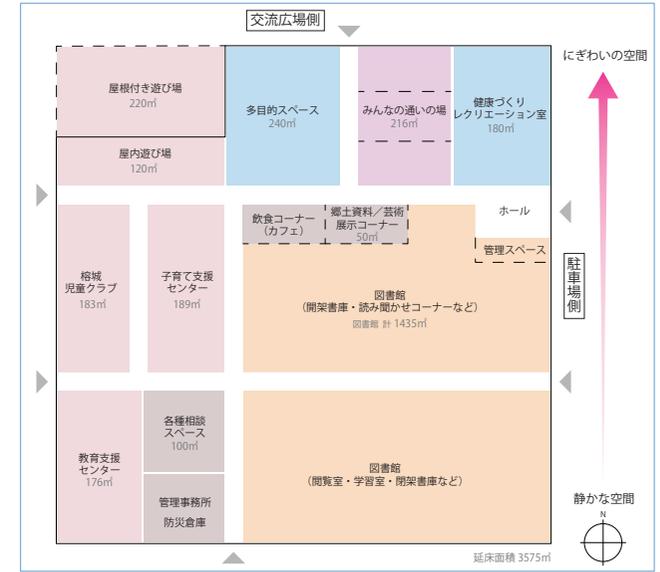
市道からのアクセスが最も良いが、敷地との高低差があり、**駐車場出入口は設けない**計画とします。徒歩による動線としては、**鉄砲館との連携**を考慮することが望まれます。また、現状の植栽が**防風林**の役割を担っており、その保存活用も含めて、新たな公共施設においては特に冬季に強くなる季節風に対する配慮が望ましいものと考えられます。

南側道路

市道から脇に入ったところで**駐車場出入口**を取ることができ、**混雑回避や安全性を高めることが可能です**。敷地と路面に高低差があるため、**開発許可手続き**が必要です。

8. 各機能配置について

施設内の各機能配置の考え方については、それぞれの機能に必要な空間を用意するために、「にぎわいの空間」と「静かな空間」に配慮した計画とします。



* 今後、設計事業者等のアイデアによって変更となる場合があります。

9. 概算事業費について

概算事業費については、国や県などが公表する基準単価や算定式による他、近年の他自治体における事例、民間事業者等への聞き取り結果などを参考に算出しました。

今後も物価上昇等の推移を踏まえながら継続的に確認を行うものとします。

* 本体工事費の算定については、木造平屋と仮定して算出しています。

費目	概算費(税別)
解体費	約 3.9億円
本体・外構工事費	約 13.3億円
設計・工事監理費・その他	約 3.4億円
合計	約 20.6億円

(参考イメージ)



* (図書館)多様な利用に対応した空間を整備します。



* (子どもの遊び場)屋内/屋根付き遊び場を設置します。



* (飲食コーナー)多世代交流の場を創出します。

10. 事業スケジュールについて

現時点における事業スケジュールとしては、R8年度以降に設計や運営事業者等の選定を実施し、R10年度以降に建設、R12年度初頭に供用開始とするイメージです。

